

中学校で職業講話を行いました

～「グループホームきらら都町」開かれた施設を目指して～

スタートケアサービス株式会社(本社：東京都江東区、代表取締役社長：吉井はるか：以下弊社)が運営する認知症対応型共同生活介護「グループホームきらら都町(千葉県千葉市：以下当ホーム)」が、2025年7月9日(水)に地域の千葉市立加曽利中学校にて職業講話を実施しました。

千葉市内の全中学校でキャリア教育の一環として実施している職場体験で、学生が地域に実在している職場で働くことを通して、職業や仕事について体験的に学ぶ活動です。毎年加曽利中学校の職場体験の受け入れを当ホームで行ってきましたが、今年度は中学校より依頼をいただき、2年生の生徒70名を対象に2コマ分の授業で講話を実施しました。

講話のテーマは「介護の仕事とは」。認知症の症状について、当ホームでは一日を通してどのようなことをしているのか、介護の仕事のやりがい等をお伝えしました。生徒の皆さんにとっては「介護」が身近にはないため「認知症の症状」について驚かれている場面もありました。終始真剣な眼差しで聞いていただき、講話の最後には質問も多く上がり、興味を持っていただけだった様子でした。

今回の講話をきっかけに「介護の仕事」を知っていただき、生徒の皆さんが気軽に当ホームに立ち寄れ、ご利用者と触れ合えるような「開かれた施設」を運営し、今後も地域との関りを大切にしていまいります。



<本件に関するお問い合わせ先> スタートケアサービス株式会社 広報：池原
TEL：03-6880-3256 (直) FAX：03-6880-3261
(9:00～18:00、水・土曜不定休／日・祝定休)